

ARFANEWS

発行所/スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会 〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院保健学研究科浦辺研究室 電話082-257-5405

★今回の封入物について

総会委任状を同封いたしました。総会に欠席される方は提出して下さい。締め切りは2月20日(月)必着です。

■総会開催のご案内

来る3月5日(日)の第2回講習会開催当日、今年度の定期総会を開催いたします。会員の皆様には是非、ご出席いただきますようお願い申し上げます。なお欠席される方は同封の委任状(はがき)を提出(郵送)して下さい。

■総会議案

A.平成17年度事業報告

- (1) 総務部
- (2) 事業部
- (3) 委員会
- (4) その他

B.平成17年度会計報告

- (1) 一般会計
- (2) 事業会計

C.平成18年度事業計画

- (1) 予定事業は下記
〔総会議案資料〕参照
- (2) 各局・各委員会予定事業
(同上)

D.平成18年度予算案

E.その他

※総会議案資料は当日配布予定

■総会議案資料 (特に記されていないものは当日口頭にて発表予定)

A.平成17年度事業報告

1.研修会の開催・運営

●研修局会議の開催

- 第1回研修局会議：平成17年5月20日(新小岩パークホテル)
- 第2回研修局会議：平成17年8月8日(スポーツ医・科学研究所)
- 第3回研修局会議：平成17年11月25日(岡山市)

●第23回研修会(岡山)

研修会長：加藤茂幸(吉備国際大学)
会期：平成17年11月26日(土)・27日(日)
会場：岡山国際交流センター
テーマ：「スポーツ現場に必要な医学科学サポート」
後援：(財)日本体育協会、(財)日本オリンピック委員会、(財)岡山県体育協会
協賛企業：12社、展示企業：5社、書籍販売：1社、広告：5社
参加者：87名

2.講習会の開催・運営(年度内2回)

●平成17年度第1回講習会(大阪)

開催委員長：吉村直樹(やまぎわ整形外科)
会期：平成17年6月5日(日)
会場：大阪医専
テーマ：「効率的な動きを作る」
参加者：177名

●平成17年度第2回講習会(東京)

開催委員長：板倉尚子(日本女子体育大学 健康管理センター)
会期：平成17年3月5日(日)
会場：東京体育館第1研修室
テーマ：「最近のトピックス」

3.ワークショップの開催・運営

●第20回ワークショップ(愛知)

開催委員長：藤堂庫治(三菱名古屋病院)
会期：平成17年10月22日(土)・23日(日)
会場：(財)スポーツ医・科学研究所
テーマ：「スポーツ選手に必要な柔軟性を考える」
参加者：34名

●第21回ワークショップ(熊本)

開催委員長：東利雄(熊本機能病院)
会期：平成17年2月11日(土)・12日(日)
会場：熊本機能病院

テーマ：「スポーツ選手に対する機能評価とその実際」

後援：(財)日本体育協会、(財)日本オリンピック委員会、(財)熊本県体育協会

4.学術局

第23回研修会の一般演題審査を行った。「足関節背屈角度の測定に対する一考察」を発表した医療法人社団昇英会はちすばクリニックの野村亜樹先生ならびに「難治性の足底筋膜炎に対するテーピングの工夫」を発表した医療法人社団昇英会はちすばクリニックの吉田奈美先生が奨励賞に選ばれ表彰された。

(1) 総務部

①事務局(広島大学大学院保健学研究科、トータルケアシステム)

1. 公文書の発行・管理
2. 会員管理業務

【会員数】(平成18年1月10日現在)正会員321名、学生会員5名、特別会員3名、計329名

【平成17年度新規入会者】

正会員40名、学生会員2名、計42名

3. 会員カードの発行・管理
4. 各事業への事務的サポート
5. 理事会の開催準備、会議資料、議事録の作成、管理業務
6. 機器物品のメンテナンス、管理業務
7. 資料集の管理
8. 各事業のビデオによる記録・保存
9. 各事業への機器物品の貸出し業務
10. 事務局をブックハウスHDから広島大学大学院保健学研究科に移転

B.平成17年度会計報告

C.平成18年度事業計画

1. 研修会の開催(年1回)
2. 講習会の開催(年2回)
3. ワークショップの開催(年2回)

○各事業

- ・研修局会議の開催
- ・第24回研修会（関東）の企画・開催

研修会長：板倉尚子（日本女子体育大学 健康管理センター）

会期：平成18年11月4日（土）・5日（日）

会場：東京都内を予定
テーマ：企画中

- ・第1回講習会（愛知）の企画・開催
開催委員長：濱野武彦（トライデントスポーツ健康科学専門学校）

会期：平成18年5月14日（日）

会場：トライデントスポーツ健康科学専門学校

テーマ：「足関節捻挫後の慢性症状～治療のトピックス～」

- ・第2回講習会の企画・開催

平成19年3月に関東で開催予定。
詳細はARFAニュース、ホームページにて通知予定

- ・ワークショップの企画・開催
第22回ワークショップ（静岡）

会期：平成18年9月頃を予定
その他、予定詳細はARFAニュース、ホームページにて通知予定

第23回ワークショップ（鹿児島）
開催委員長：加賀谷善教（鹿屋体育大学）

その他、予定詳細はARFAニュース、ホームページにて通知予定

■平成17年度賛助会員リスト

【A会員】

オージー技研株式会社

【C会員】

アコードインターナショナル株式会社

有限会社アルテックブレース

株式会社医道の日本社

インターリハ株式会社

インデックス有限会社

エムピージャパン株式会社

酒井医療株式会社

株式会社サカモト

三進興産株式会社

有限会社トータル・ケア・システム

日東メディカル株式会社

株式会社日本メディックス

有限会社ブックハウス・エイチデイ
三菱電機エンジニアリング株式会社
ミナト医科学株式会社
株式会社ライジング

（全17社）

■事業報告

第23回研修会報告

平成17年11月26日（土）・27日（日）の計2日間にわたり、第23回研修会を開催させていただきました。今回の研修会ではメインテーマを「スポーツ現場に必要な医科学サポート」とし、スポーツ活動支援をクローズアップしました。今年度は第60回国民体育大会の開催県である岡山にて初の研修会開催でありましたが、85名の多くの方々にご参加いただき、医科学サポートの今後のあり方について共に考えられる2日間でありました。

特別講演では、早稲田大学名誉教授、吉備国際大学名誉教授 窪田登先生に「私のウェイト・トレーニング人生」と題してご講演をいただきました。ご自身の60年間のトレーニング経験を通してのたいへん貴重なお話とともに、私たちに欠かすことのできないトレーニングの歴史を聴かせていただきました。

基調講演1では、岡山大学医学部・歯学部附属病院整形外科講師 阿部信寛先生に「スポーツ現場に必要な膝スポーツ外傷の知識」と題してご講演をいただきました。ACL損傷や半月板損傷などの膝スポーツ外傷の受傷機転、術式、リハビリテーションプログラムにおよぶ内容でお話をいただき、臨床の知識を深めることができました。

基調講演2では、吉備国際大学保健科学部教授 河村顕治先生に「スポーツ現場へのバイオメカニクス研究からの提言」と題してご講演をいただきました。これまでの研究成果から得られた二関節筋の特性をお話いただくとともに、そこから生まれた様々な開発機器の数々をご紹介いただきました。

すべての先生にご熱心なご講演を



岡山国際交流センター

いただき、参加されたの方々にとっては貴重な知識と情報を得る機会となりました。

また、シンポジウムではテーマを「地域にねざしたスポーツ医科学サポートを考える」と題して、京都地域医療学際研究所附属病院、神戸アスリートタウンクラブ理事 沼倉たまき先生には「神戸アスリートタウンクラブにおけるサポート」についてご講演いただき、岡山湯郷Belleトレーナー 石田裕子先生には「女子サッカーLリーグチームにおけるスポーツ医科学サポート」についてご講演をいただきました。最後に鶴田整形外科 平川信洋先生に「スポーツ医科学サポートに対する法的諸問題」と題してお話をいただき、ブックハウスHD 清家輝文様の司会進行のもと、これからの医科学サポートの取り組みについてならびにトレーナーそのものについて考える有意義な時間となりました。

一般演題は14題の発表があり、活発な質疑応答が行われました。今年度は優秀演題に医療法人社団昇英会はちすばクリニックの野村亜樹先生が発表された「足関節背屈角度の測定に対する一考察」が選出され表彰されました。

このようにして多くの方々にご支援ならびにご協力をいただき、第23回研修会を無事に終えることができました。準備員一同を代表して皆様に心よりお礼申し上げます。

第23回研修会長 加藤茂幸

第23回研修会に参加して

平成18年11月26～27日、岡山国際交流センターにて第23回研修会、



会場の様子



シンポジストの先生方



窪田 登先生



阿部信寛先生



河村顕治先生

テーマ「スポーツ現場に必要な医科学サポート」が開催されました。

まだ本研究会に入会して日が浅い私は、緊張と期待とでドキドキしながら初参加させていただきました。

まず、窪田先生による特別講演「私のウェイトトレーニング人生」と題し、ウェイトトレーニングに対する考え方や、現在までの経歴と笑いを交えた体験談を聞くことが出来ました。まだまだ現役という意欲の凄さにただ驚くばかりでした。

基調講演では、阿部先生による「スポーツ現場に必要な膝スポーツ外傷の知識」として、膝関節の機能（靭帯の役割）からみた受傷機転、未だ解決されていない競技復帰の時期・目安、これから見直されていく術法（アプローチ）について説明されました。河村先生による「スポーツ現場へのバイオメカニクス研究からの提言」では、CKC・OKCの筋活動の違いや二関節筋の役割など、実際にトレーニングを行うにあたって大変興味深いお話でした。

一般演題では、15名の先生方に

研究論文を発表していただきました。日頃の臨床の中で考えさせられるもの、また新たに疑問・興味がわくものばかりでした。今回得た情報（ヒント）をもとに、自分でも何か研究に取り組んだり、選手や患者様に応用できないかと思いました。

沼倉先生・石田先生・平川先生によるシンポジウム「地域にねざしたスポーツ医科学サポートを考える」では、トレーナーとしての活動状況、現在抱えている問題点を御提示していただきました。私自身未熟ですが、スポーツの現場に携わっております理学療法士として、病院ではない外部の現場に関わることは容易ではありません。医療現場とスポーツ現場の大きな違いに、いつも戸惑い・葛藤ばかりです。先生方のお話を聞いて、自分のチーム内での役割を再確認し、選手に対し可能な範囲で対応する（石田先生の「餅は餅屋」）ことが必要とわかり、とても参考になりました。

今後も、研修会・講習会・ワークショップに参加し、多くの情報取

集・技術を習得するとともに、多くの先生方のお話を聞いて自己向上に努めていきたいと思えます。

今回、お忙しい中企画・運営していただいたスタッフの方々に御礼申し上げます。

成尾整形外科病院リハビリテーション科 山本知昌

■今後の事業案内

平成17年度第2回講習会のお知らせ

前回ニュースで黒田善雄先生記念講演をご案内致しましたが、都合により内容を変更致しました。今回の講習会は「トリノオリンピック」、「膝前十字靭帯損傷」についてご活躍の先生方に最近のトピックス、またジャーナリストの視点から「スポーツ医学」についてお話をいただきます。当日は平成17年度総会を開催いたします。会員の皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

■開催要項

会期：平成18年3月5日（日）

10:00～17:00（受付開始9:30）

会場：東京体育館第1研修室（東京

都渋谷区：JR総武線千駄ヶ谷駅下車
徒歩1分)

参加費：会員5,000円、一般7,000円
(当日受付)

内容

10:00～11:00

「トリノオリンピックメディカルレ
ポート～トレーナーを中心とした新
しいサポート体制の構築」高尾良英
(藤沢湘南台病院健康スポーツ部)

11:10～12:10

「スポーツ医学とSportsmedicine～
ジャーナリストの視点から」清家輝
文(月刊スポーツメディスン編集人)

13:10～14:00

総会

14:10～15:40

「膝前十字靭帯損傷～最新トピック
ス～」福林 徹(早稲田大学スポ
ーツ科学学術院)

15:50～16:50

「膝前十字靭帯損傷～リハビリテー
ションと予防～」浦辺幸夫(広島大
学大学院保健学研究科)

◎お問い合わせ／日本女子体育大学
健康管理センター 開催委員長 板
倉尚子

FAX.03-3300-3743

E-mail: itakura@jwcpe.ac.jp

平成18年度第1回講習会開催のお 知らせ

平成18年度第1回講習会を名古
屋市で開催いたします。

本講習会では日常のスポーツや医
療現場で多くみられる足関節捻挫を
取り上げ、とくに様々な症状により
治療に難渋することが多い「足関節
捻挫後の慢性症状」をテーマとしま
した。日頃からスポーツ選手に携
わっておられる先生方に評価方法か
ら治療及び対処方法に至るまでを
講演いただきます。また様々な競技
種目でスポーツ選手のリハビリテー
ションに従事しておられる方々をパ
ネラーとして、症例を通じて対処方
法を提示していただく内容を予定し
ております。会員の皆様のご参加を

お待ち申し上げます。

■開催要項

テーマ：「足関節捻挫後の慢性症状
～治療のトピックス～」

開催地：愛知県名古屋市

開催日時：平成18年5月14日(日)
9:30～16:00

参加費：会員5,000円、非会員7,000
円

定員：200名

申し込み受付：当日受付(予約不要)

◎お問い合わせ／トライデントス
ポーツ健康科学専門学校 開催委員
長 濱野武彦

FAX.052-735-3316

E-mail: sr-nagoya@hotmail.co.jp

役員選挙

平成18年度は役員改正の年です。
定款細則第9条により理事に立候補
するものは、2月3日(金)の正午
までに浦辺代表に文書により届出
を行って下さい。

資料1

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会 平成17年度第1回講習会収支計算報告書 (平成17年6月5日開催)

平成17年7月21日締

勘定項目	予算額	決算額	差異(△)	備考
I 収入の部	円	円	円	
参加費 会員	250,000	175,000	75,000	5,000円×35名
一般	175,000	875,000	△ 700,000	7,000円×125名
一般学生	0	85,000	△ 85,000	5,000円×17名
事業収入合計 A	425,000	1,135,000	△ 710,000	
事業費	0	0	0	
収入合計 B	425,000	1,135,000	△ 710,000	

II 支出の部	円	円	円	
通信連絡費	15,000	2,640	12,360	切手代他
事務消耗費	10,000	27,001	△ 17,001	
運営費	60,000	90,293	△ 30,293	
会場費	30,000	19,700	10,300	視聴覚機器借用料を含む *1
講演費	270,000	282,389	△ 12,389	*2
人件費	20,000	20,000	0	受付・接待アルバイト
資料作成費	10,000	20,082	△ 10,082	
雑費	10,000	9,008	992	DVテープ他
講習会支出合計 C	425,000	471,113	△ 46,113	

差引差額 A-C	0	663,887	△ 663,887	
差引差額 B-C	0	663,887	△ 663,887	

*1：会場／大阪医専

*2：外部講師3名・内部パネラー3名・座長4名・司会1名

スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会
第20回ワークショップ（愛知）収支計算報告書
（平成17年10月22日～23日開催）

平成17年10月30日締

勘定項目	予算額	決算額	差異(△)	
I 収入の部	円	円	円	
参加費 会員	500,000	560,000	△ 60,000	20,000円×28名
一般	140,000	210,000	△ 70,000	35,000円×6名
事業収入合計 A	640,000	770,000	△ 130,000	
事業費	20,000	0	20,000	
収入合計 B	660,000	770,000	△ 110,000	

II 支出の部	円	円	円	
通信連絡費	11,000	5,400	5,600	切手代他
事務消耗費	2,000	103	1,897	
運営費	45,000	53,819	△ 8,819	
会場費	50,000	30,000	20,000	視聴覚機器借用料を含む *1
講演費	350,000	332,931	17,069	*2
懇親会費	90,000	63,561	26,439	
人件費	15,000	7,200	7,800	受付・接待アルバイト
資料作成費	60,000	21,639	38,361	
雑費	17,000	15,640	1,360	D Vテープ他
事業支出合計 C	640,000	530,293	109,707	

差引差額 A-C	0	239,707	△ 239,707	
差引差額 B-C	20,000	239,707	△ 219,707	

*1：会場／財団法人スポーツ医・科学研究所

*2：外部講師 3名・内部講師 3名・司会 2名